

選定に必要な資料

(種目名 美術)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
D 開隆堂出版	<p>・2・3年を1冊にまとめ, 3年時に既習事項を振り返ることができる。また, 巻末に学習を支える資料を充実させるような工夫がされている。</p> <p>・生徒作品を多く取り入れ, 作者の作品への思いを簡潔に掲載することで, 表現力・思考力を引き出す工夫がされている。(1年p22, 23, 2・3年p30)</p>	<p>・レオナルド・ダ・ヴィンチの作品で, 一点透視図法の確認や顔の比率を確認する題材は掲載されている写真がページの折り目にかかっている点で配慮が必要である。(2・3年p18, 19, 22)</p> <p>・「写し取る形」は, 多色刷りの美しさだけでなく, 彫刻刀の掘り跡を生かした一色刷りの表現を載せるなど多様な版画技法ができるよう工夫されている。(1年p30, 31)</p>	<p>・各学年の巻頭ページに「美術を通して学ぶ大切なこと」を設定することで, 美術が身近な生活や社会に活かされていることをイメージできるよう工夫されている。</p> <p>・見開きや原寸大, 縦開きで見ると資料となる作品の特徴やサイズに見合った掲載方法が工夫されている。</p>	<p>・「動きのおもしろさを使って」では, 光の軌跡によるアニメーション制作が紹介され, 「光と明かり」では光による空間演出が掲載されている。これらは学習指導要領の共通事項にもある「光」の要素が, 現代的な道具や技術につながる配慮がなされている。(1年p44, 45, 2・3年p86, 87)</p>	<p>・他者と関わりながら制作する題材を設定するなど, 言語活動の充実に配慮されている。(1年p46, 47, 2・3年p69, 71)</p>	<p>・絵巻物の題材では, 右から左へ見ていくなどレイアウトに変化をもたせる工夫がされている。(2・3年p43-38)</p>	<p>・多くの生徒作品を掲載することで, 同年代の生徒の発想を広げられるよう配慮されている。</p> <p>・生徒の興味・関心を高めることができるようなレイアウトの工夫がされている。</p>
J 光村図書出版	<p>・2・3年を1冊にまとめ, 3年時に既習事項を振り返ることができる。また, 巻末に学習を支える資料を充実させるような工夫がされている。</p> <p>・1年では, 小学校とのつながりから, 2・3年生では, 日常生活の中からの美術について考えられるよう配慮されている。(1年p5-7, 2・3年p5-7)</p>	<p>・「特別展示室」では左右見開きにし, 作者と作品・彫刻と絵画など視点を変えて鑑賞させる工夫がされている。(1年p22-27, 2・3年p40-45)</p> <p>・題材によっては, 4ページで取り上げたものがあり, 大きな図版と生徒の発想や構想の過程を追った「みんなの工夫」によって制作の参考になるように工夫されている。(1年p10, 2・3年p28)</p>	<p>・キャラクターやお菓子のパッケージデザインなどの題材を取り上げることで, 生徒が興味を持って学習できるよう工夫されている。(2・3年p58, 59, 68, 69)</p>	<p>・平田の一式飾りや県内作家の作品が掲載され, 題材と関連させて地域の伝統文化を身近にする配慮がされている。(1年p19, 2・3年p35)</p>	<p>・作品と共に詩を掲載し, 心情面を引き出す工夫がされており, 道徳や特別活動にも発展できるよう配慮されている。(1年p22-27, 2・3年p40-45)</p> <p>・対話型鑑賞ができるような構成によって, 言語活動の充実を図ることができる。(1年p22-27, 2・3年p40-45)</p>	<p>・巻末の「学習を支える資料」の中に, 共通事項の視点が掲載され, 生徒が参考にできるよう配慮されている。(1年p60-62, 2・3年p84, 85)</p> <p>・現在活躍している作家の制作過程や制作風景を掲載し, 創作活動に対する深まりを喚起したり, キャリア教育との関連をもたせる配慮がされている。(1年p46, 47, 2・3年p78, 79)</p>	<p>・図版や関連題材を多く掲載しながら, 作品制作の過程や「作者の言葉」を分かりやすく掲載し, 学習活動の見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>・各巻頭, 巻末に同じ作家の文を載せることで一貫性をもたせたり題材に沿った詩を多く載せたりすることで, 発達段階とともに深まるよう配慮されている。(1年p2, 2・3年p2, 26, 27, 105)</p>

選定に必要な資料

(種目名 美術)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
○ 日本 文 教 出 版	<p>・1年「出会いと広がり」2・3年を分冊とし, 上「学びの広がり」下「美の探求」をテーマに生徒の心の成長に対応するように配慮されている。</p> <p>・題材数が現行のものより増え, 発展的な学習が行いやすいよう工夫がされている。</p>	<p>・字や写真, 図の大きさや量が精選されており, 縦横の目線を揃えるなどレイアウトを配慮している。(2・3年上p30, 32, 2・3年下p10, 11)</p> <p>・表現と鑑賞の一体化を図るために「参照」ページを載せ, 学習を効果的に進める工夫がされている。(1年p24, 2・3年上p45, 2・3年下p24)</p>	<p>・各巻の「教科書美術館」では, 左右見開きにし, 大画面で写真を掲示したり, 紙を和紙にし, 作品をより効果的に見せる工夫がされている。また日本の伝統や文化について視点を明確に学習できる点で優れている。(2・3年上p22~p30, 2・3年下p24~p29)</p> <p>・学年のテーマに沿った表紙は, 鑑賞の出発点である役目として工夫されている。(全巻表紙)</p> <p>・「なぜか気になる情景」は, 生徒に身近な題材設定や生徒作品を多数掲載することで, 興味・関心を高める工夫がされている。(1年p12, 13)</p>	<p>・「伝え合うかたち」では, 生徒作品や制作過程を多く掲載することで, 自分の考えをまとめたり, 人にわかりやすく伝えたりする方法を多面的に紹介している。(1年p37, 2・3年上p39)</p> <p>・「新鮮な視点で捉えよう」は, 題材の選定において写真やビデオ, PCなどのICT機器を積極的に活用することができるよう工夫がされている。(2・3年上p8, 9)</p>	<p>・各巻末には, 表現や鑑賞に役立つ資料だけでなく共通事項の視点が掲載され, 基本的な事項を振り返ったり, 制作に役立てたりできるよう配慮されている。(1年p50-59, 2・3年上p48-57, 2・3年下p48-57)</p> <p>・社会に貢献しているデザイナーや建築家の作品や考え方を紹介することで, キャリア教育と関連するよう配慮されている。(1年p32, 33, 2・3年下p6, 7)</p>	<p>・数字, 見出しのフォントとルビ, 文章と写真や図のレイアウトにユニバーサルデザインを取り入れるなど, わかりやすさに配慮されている。(2・3年上p18)</p> <p>・生活や文化, 地域や社会とのつながりを考えた内容を題材にすることで, 他教科・領域の学習に関連させる工夫がされている。(2・3年上p42, 43, 2・3年下p38, 39)</p>	<p>・A4版を拡大して横幅を拡げ, 情報量を増やしたり, 作品を大きく掲載したりすることで鑑賞活動を充実できるように配慮されている。</p> <p>・1年の巻頭では小学校とのつながり, 2・3年下の巻末には高校から生涯へつながるよう配慮されている点が, 新学習指導要領の「生きる力」や「コンピテンシー」に基づいている。(2・3年下p57)</p>